

## 議 事 要 旨（公開用）

- 件 名 令和元年度第2回月形町未来を考える委員会
  - 日 時 令和元年12月16日（月） 午後5時00分～6時15分
  - 場 所 月形町役場 大会議室
  - 出席者 委員：13名（別紙のとおり） ※ 欠席：5名  
町：上坂町長（委嘱状交付のみ）、堀副町長、古谷教育長ほか10名
  - 傍 聴 なし
- =====

### 【委嘱状交付】

上坂町長より森脇委員へ委嘱状を交付

### 1 開 会

【開会：企画振興課長】

### 2 会長挨拶

【挨拶：山田会長】

- ・ 本日は皆さんお疲れのところ、第2回未来を考える委員会にご出席いただきありがとうございます。ございます。
- ・ 今日、新たに行革推進委員会の推薦で、新しく森脇委員さんになっていただきました。また、この後ご意見を伺いながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
- ・ 先月25日の会議では、第4次総合振興計画前期分の5年間が終わり、ベンチマークや成果指標などについて、約1時間半以上の説明一方で終わっています。

その中で第2回目、来年の答申に向け非常に大変だと思っております。未来の月形町の大綱といいますか、大きな視点になりますので、総合戦略のように一つひとつの事業ではない分、大変な面もあります。各団体や個人の忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。今日は、本当にどうもありがとうございます。

### （1）月形町第4次総合振興計画後期基本計画（案）について

【進行：山田会長】

【説明：企画振興課企画係長】

- 前回到引き続き審議をお願いしたいと思います。
- 1点だけ関連がありますので、ご説明させていただきます。
- ・ 第2期月形町創生総合戦略の審議会もこの会議と並行して進めており、前回の会議でもご説明のとおり戦略事業は、この後期基本計画の重点プロジェクトに位置付けら

れています。

- ・ その関係から戦略の変更により、後期基本計画に影響する場合も考えられます。必要な修正が発生した場合は、次回の会議で提案させていただきたいと考えておりますので、予めご了承をお願いいたします。

### 【審議】

- （山田会長）それでは、10月25日の会議で前期計画、成果指標などを皆さんにご説明しました。前は説明だけで終わってしまいましたが、前の会議を受けまして質疑があれば受けたいと思います。
- （山田会長）特によろしいでしょうか。
  - ・ なければ、この後に入っていきたいと思います。資料4の後期基本計画案「わたしたちの月形未来計画」を皆さんお持ちかと思います。この中に第1章から第6章まで、財政や社会情勢との整合性の中で、大綱として将来のまちのあるべき姿を計画に書いてあります。この後、1章ずつ皆さんの方から意見があれば、お伺いしたいと思います。こちらから指名する場面もあると思いますけれども、ご意見をいただければと思いますので、ご協力をお願いしたいと思います。
- ○ （山田会長）第1章の3ページです。「みんなにやさしく健やかなつきがた」ということで、「1 保健・医療」、「2 高齢者支援」、「3 障がい者支援」、「4 子育て支援」、「5 地域福祉」、「6 社会保障」というところです。その1章に関して、大綱という方向性も含め何かあればと思いますが、どうでしょうか。
  - ・ ここでは、保健福祉課、社会福祉協議会も含めまして、今までも他の計画の中で行っていますけれども、何か皆さんの思うところがあれば、お聞きしたいと思います。いかがでしょうか。
- ○ （尾崎委員）確認させてもらいます。今回の後期基本計画は、この資料3-1の点検・評価報告書を基にしているということでしょうか。そこをもう一度確認したいです。
  - （企画振興課長）そうなります。この間ご説明のとおり、資料3-1の点検・評価報告書、職員の評価、アンケートなどを基に資料4の後期基本計画を策定されているということになります。
- （尾崎委員）この報告書の中で、「今後の方向」で「C」など出ているところについては、この後期に反映されていると見てもいいでしょうか。
  - （企画振興課長）今の件について、資料3-1の7ページ、この表の真ん中あたりに「施策の見直し」というところです。「A」「B」「C」とあり、「A」は「見直し不要」ですから、そのままという形です。「B」は「一部見直しが必要」、「C」については「全体的に見直しが必要」、「『C』の事業評価がついた部分については、この計画書に反映されていますよね』ということですね。内容としては、そのような形ですけれども、

細かな事業ですので、この個票で直った部分が具体的に計画のこの部分とまでは言えませんが、基本的にそういう考え方です。

- (尾崎委員) 分かりました。ありがとうございます。
- (山田会長) そういう形の中で見直しをし、ここに関しては重点プロジェクトというように5年間の中で進んでいくと判断すべきと思っております。
- ○ (山田会長) その他に皆さんの方でどうでしょうか。
- (松山委員) 町立病院の充実ということで、公設民営化を含めた検討が後期計画の中にあります。意見でもいいですね。

5年前に比べて、やはり人口も減ってきていますが、今の町立病院の診療体制は5年前と似たように感じます。やはり人口が減っている中、同じような科を維持していきながら、ずっと続けてきているということで、すごく大変なところがあるだろうと思われま。市民が求めている病院は、このまちにはなくてはならないものですし、これからもずっとそういうのを維持していただきたいと思います。けれども、中身に関して、同じ科を維持していくことが必要なのかなのかということ、検討するに値するだろうと思えます。私たちが求めているものは普段気軽にかかれる病院であり、何かのときに今は周りに大きな病院やいろいろな設備を備えた病院があります。そういうところとの連携体制は取られていると思いますが、普段から市民が病気をしたときに、希望して何かの連携体制を取れるような方向性があるとありがたいと思えます。民営化にするかどうかとは別だと思えますが、そういうものを考えていただけたらいいと思えました。

- (堀副町長) このことについては、計画では5ページのところにあります。町立病院の充実というところで、今、松山委員さんから言われましたとおり「今後の町立病院のあり方に関して公設民営化を含めた検討を行い」となっております。病院の関係については、既にいろいろ他の病院と連携をして、なんとか最低限の地域医療を確保していきたいと考えております。今、厚労省から出ました病院の再編の関係も含めて月形町にとって、どのような医療体制を維持していけばいいかということは今後も考えていきたいと思えます。基本的には、直営であろうと公設民営であろうと、月形町にとって最低限の医療提供体制はとっていききたいと思っております。これはずっと常に検討していく課題として押さえております。
- ○ (山田会長) その他にこの辺で何かありましたら。
- ○ (西野委員) 高齢者支援についてですが、たまたま聞いた話です。介護の認定については、申請の段階で支援してほしいことがあるということが大前提だと思います。けれども、実際のところ認定が下りているにもかかわらず、何の働きかけもないという現状を私はたまたま耳にしています。そこでそういう状態が分かったうえで、こういう介護保険事業の推進になっているのか。皆さんの声や自由意見を全部把握しきれ

ていなかったところもありますけれども、今のところ2件くらい、そのような「保健福祉課からの働きかけがない」と聞いています。それらを踏まえ、高齢化率もすごい高くなってきているので、なお一層その辺の連携や素早い動きが必要な人をきちんと把握してほしいと思います。意見です。前向きな意見なのか苦言を呈しただけなのか、ごめんなさい。以上です。

● (保健福祉課長) 意見として承りました。

○ (西野委員) はい、お願いします。

○ (山田会長) そういう面では、ぼくもお年寄りがいるので、介護認定の面ではなかなか不思議なところもありますけれども、関わりのある付帯意見ということで、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

- ○ (山田会長) その他に皆さんの方から何かありますか。

・ どうでしょうか。今、医療、高齢者支援、障がい者支援でした。特にこれから一番大事な人口ビジョンも非常に悲観している面もあります。その中で一番大事な子育ての支援、それから地域福祉もあります。何かありましたら意見を伺いたいと思います。

・ この1章に関しては、よろしいですか。

後で何かありましたら、ご意見や質疑を受けますけれども、よろしいでしょうか。

- ○ (山田会長) それでは、第2章の「豊かでにぎわいのあるつきがた」です。農林業、商工業、観光・交流、雇用対策、消費者対策ということで、22ページからですけれども、何かありましたらご発言願ひたいと思います。

- ○ (渡辺委員) 現在、新規就農者はなかなか月形でも、あまり来てくれないような状況だと思います。町の方では、新規就農者の関係、新規就農を目指す人たちへの働きかけというのは、現在、どのように行われているのでしょうか。

● (農林建設課長) 新規就農者に対しては、北海道や新規就農の組織の方へPRをしており、説明会などの会場に向かい募集をしています。ただ、新規就農でこちらに来る場合、どのような形で就農していくかというのは、受け入れとなる生産組合、農協、町などにより、地域おこし協力隊などの手法も紹介しながら進めております。

町では、年3回から4回ほど実施しており、前は札幌で説明しまして、いろいろな市町村が集まった会場でのPRというのが第一となっております。

○ (渡辺委員) 今後とも、この農業人口が増えるということは見通せない中で、新規就農というのは本当に入れていかなければならないと思います。新規就農といっても、中途半端に来られても困ることになりますし、審査と言ったら良い言い方ではないですけれども、やはり就農される方がどういう覚悟をもって就農されるのかということもある程度聞きながら、今後の月形の農家人口の減少は、おそらく、このままいくと減る一方だと思います。実際のところ農家はそんなにいる状況でないのに厳しいと思います。歯止めにならないかもしれないですけれども、足がかりでもある程

度見つけなければならないと感じています。その辺のことは、お願いしたいと思いません。以上です。

- ○ （農林建設課長）募集の新規就農者のやる気というのは当然ですけれども、ハードルとして、資金はどれくらいか、どういう計画をもっているか、家族との同意など、その辺の確認はしております。ただ、ハードルを上げれば、例えば、資金でいうと資金を上げると、なかなか厳しいというのも一つあります。また、希望する農地、いく先が見つからないという不安が就農者にもあります。これは、農地の状況などを確認しながら、農協、農業委員会、行政、団体等で支援をし、協議しながら進めていくという体制をとっております。なかなか条件に合う、合わないがあり、大変難しいところもありますけれども、まずは、人を呼んでPRするということに力をもっていきたいと思っております。
- ○ （山田会長）第2章の農業関係で、その他に担い手ということで質問もありました。私も農業をしており、生産年齢人口も減っていますし、本当になかなか。ここにも重点の「米穀乾燥調製貯蔵施設」、「ミニトマト等の集出荷施設」がありますけれども、それに見合うだけの生産年齢人口が、このまちに残っていくのか、そのような不安も非常にあります。今、農家は170戸、180戸で以前に比べ半分以下になってしまった中で、人口ビジョンもそうですけれども、非常に一番大変な面と思っています。それに関して皆さんから他にあれば承りたいと思います。
  - ・ よろしいですか。それでは、後でまた何かありましたら受けたいと思います。
- ○ （山田会長）第3章の「快適で安全・安心なつきがた」ということで、37ページの「1 環境エネルギー」から、この中で皆さんの方であれば受けたいと思います。
  - ・ 何かありませんか。ここら辺はベンチマーク等をみても大変な面等があります。ベンチマークでいくと順調に進んでいくような形ですけれども、よろしいでしょうか。
  - ・ よろしいですか。ないようでしたら、第4章の方に入っていきたいと思います。
- ○ （山田会長）第4章の「人が輝き文化が薫るつきがた」ということで、学校教育、生涯学習、青少年健全育成、スポーツ、文化、国際化、地域間交流ということです。なかなか目に見えて結果の出るところではないですけれども、皆さんの方で何か。どうでしょうか。
  - ・ この辺は、大事な面もあります。小学校、中学校もかなりいろいろあり、校舎等も古くなってきています。この後、小中一貫などの形の中で進むというのは、将来に向かってはあると思いますけれども、どうでしょうか。
  - ・ よろしいですか。とりあえず、また、次に進んでいきたいと思います。
- ○ （山田会長）第5章「発展への基盤が備わったつきがた」ということで、土地利用、住宅施策、道路・公共交通、情報化ということ。このテーマで皆さんの方から何かあれば受けたいと思います。どうでしょうか。

- ・ 住宅問題等もありますけれども。
- ○ (渡辺委員) 先ほども言いましたけれども、これからどんどんと人口が減っていくという状況です。その中で、どのように人を呼び込むか、仕事をする場所を増やすか。今は会社にいなくてもパソコンでいろいろな仕事ができるというようなこともあります。その辺の住宅環境など、何か町としても、人が町内に移り住むということに関して検討しているということはあるでしょうか。

- (企画振興課長) 実は、戦略の前回行われた会議の中でも、そういった必ずしも住んでいるまちに職場がなくてもできる仕事ができるいろいろな仕事ができるのではないかと。そういう中で、子どもたちへのプログラミングの教育などで育てて、一定の期間は月形の外に出るかもしれないけれどもというようなご意見も出ていました。

人口減少に対応する施策というのが、皆様には個別にご説明してございませんけれども、創生総合戦略というのが正にそれに当たります。いかに減少を食い止めるかという計画が戦略の中で謳われています。今回、次期戦略に向けて、夜間と昼間の人口の差、実際に月形に働きに来ているけれども、居住は町外というところが改めて明確になってきてございます。そのような対応、それから人口を増やす件については、30代の女性が、このところ他の年代よりも減少していますので、そこにターゲットを当てた施策を展開していこうということです。

前回、27年の調査の中でも、そのような指摘はされており、アンケートや人口動態等の動きをみて、かなり多くの事業展開や取り組みをしましたがけれども、なかなか減少の歯止めには至らなかったというところです。

今回の戦略については、更にそのこのところに向けたプラスαを考えていこうということで、この間の戦略の中でもかなり厳しいご意見も出ていました。今回、会長や事務局からも説明のあったとおり、戦略の施策は、この振興計画がそれを包含しており上位計画ということになります。今後、まとめ次第、戦略の変更点についても皆さんにご説明したいと思います。

施策については、農業のUターンや後継者の方への支援を現段階でしています。商工業は行っていないということで、これからの5年間の中で商工業に対しても考え、後継者の方に来ていただきたい。それから、先ほども言ったように住宅施策になろうかと思えます。町外から来られている方を如何に取り込むかということで、今もやっております。商工業の方にアパートを建てていただいて、そこに住んでいただくという支援を大きくしていくべきではないかということで、対応をもうひと捻りという感じになっています。

- (山田会長) そういうことでよろしいですか。
- (渡辺委員) はい。
- ○ (山田会長) 中身のいろいろな事業については、創生総合戦略の方で同時に進んで

います。こちらは大綱という大きな形の中で見て、こういう方向にとということでやっています。今後とも総合戦略の方で、いろいろな形で来年出てきますので、それも注視していただければと思います。

- ○ (松山委員) 公共交通の「新たな公共交通の導入」というところです。特に車に乗れない方、高齢化に伴って「どうやってまちへ来るか」など段々と問題になってくると思います。現段階で、この後に「どういうものをどうのように導入していくか」ということをどのように考えているのでしょうか。

- (企画振興課長) 公共交通については、皆様いろいろな場面で聞いていると思います。一つは、札沼線が廃止になった際の代替交通ということで、浦臼から当別までの間をバスで運行し、他のまちと結ぶというところです。

今、松山委員から言われた件については、高齢化への対応ということで、町内であろうかと思います。公共交通の活性化協議会というのがあり、その中で公共交通網形成計画という計画を立てています。現段階で少し足踏みをしているところではありませんけれども、町内交通については、デマンド交通と言いまして予約運行型の交通です。ご自宅の前までお迎えに行き、タクシーよりは使い勝手が少し悪いけれども、料金は安いという形です。一定の制約はありますが、お宅までお迎えをして、まち場の用事を済ませた後に、また、お宅までお送りをする。そういうものをデマンド交通と言いますけれども、導入を検討していきたいということです。

その計画の中でお示したところですが、今、代替交通の方に全精力を注いでございます。なんとしても5月6日の廃線にあたり、その前の4月1日から運行しますので、これを安定的に安全に運行することに現在集中している状況です。これが少し落ち着いた中で、デマンド交通を中心とした町内交通の整備を早急に図っていきたいというように考えているところです。

- (山田会長) よろしいでしょうか。

- (松山委員) はい。

- ○ (尾崎委員) 町営住宅の適正管理と書いてあるところで、耐用年数を過ぎた町営住宅があります。「取り壊しを進めます」と書いてありますが、これはどのように進めていますか。また、どのように皆さんが町営住宅に入りやすくなったり、新しくなったりするのか、「建て替えの必要性を検討する」と書いてあるので、どういうお考えかと思っています。

- (農林建設課長) 町営住宅は、書いてあるとおり、耐用年数を超えたら建て替えるという計画で進んでいます。対象になるのは、例でいいますと北農場団地、特に一番古いですがけれども、これを建て替えるという計画はあります。しかし、公営住宅は、人口が増えて足りなくなると建て替えられないという建前もあります。補助のお金で実施する以上。あと建て替えはできますけれども、住んでいる方が次の新しい住

宅に引っ越ししていただけるかどうかという入居者の意向も聞きながら進めております。現在の町の状況ですと、人口が増えていないということで、住宅が足りなくて建てなければいけないという段階にはなっていません。この計画では、今後、人口が増えて本当に古くなったら建て替えることで、検討しているというような表現になっております。なかなか思う様に増えず建て替えが進まない。また、入居されている方は「家賃が上がる」などのいろいろな条件があり、「はい、分かりました」と引っ越ししてくれる状況ではないところもあります。少し厳しいところもあるというので、「検討」というような言葉で考えております。

- (尾崎委員)「人がいないのはしょうがない」というのはちょっと。それで建てられないというのは分かりました。けれども、古いまま入っているということがいいのか、危なくないのか、修繕などしなくていいのか。その1軒のために壊せないということを知ったことがあり、そういうところに入っている人の意向はあると思いますけれども、きちんと「もう、だめ」というようなことや強制的にはできないものなのでしょうか。
- (農林建設課長)強制的にできないということではないですけれども、今のところ、引っ越ししたくない理由としては、先ほどのとおり「家賃が上がってしまう」、高齢者も多く「ここでいいよ」というニュアンスも捉えられるところでもあります。既に「結構古いので、新しい住宅に空きが出たら入っていただけませんか」と話をしていますが、なかなか動いてくれないというところでもあります。強制的に行政がどこまでできるかというの、少し考えなければならぬというのは意識しております
- (尾崎委員)はい、分かりました。ありがとうございます。
- (山田会長)非常にどこの市町村も、その辺の居住権的なものもあり難しいと思います。
- (古谷教育長)今まで、さくらコーポが空く度に紹介していますけれども、なかなか移ってもらえない。
- (尾崎委員)家賃が高いと言いつつも、寒い家に住んでいるから余計に暖房代が掛かります。そういうことをお年寄りがきちんと把握しているか。また、空いている以上は入る方がいます。その時に「修繕がされていない」と町民から言われ、出た後は「古いから修繕しない」という方向だという話を聞いています。その辺で、入っている人にも「定期的きちんと襖や畳を替える」ということを町としてされているのか町民自体も分からない。例えば、「5年に1回しています」、「10年に1回しています」というようなことがあると思って、お聞きしています。決めるのは入る方だろうと思いますけれども、それはそれで問題があると思います。
- (堀副町長)取り壊しをしたいという住宅はあります。けれども、今までお話ししたとおり、料金が高くなるということもあり、なかなか入っている方が違うところに

移っていただくということは、入居者の意向を尊重しています。住んでいる方から料金をもらっていますので、悪くなったところについては、きちんと修繕はさせていただいています。例えば、移った後や空いた後は、今度は新しい人は入れないで、そのままにしておきます。取り壊ししたいところがあるところが、なかなか最後まで空かないという状況が続いているということです。そこに住まれている方の気持ちを尊重しておりますので、なかなか強制的には動けないと思っております。

- (山田会長) よろしいでしょうか。
- (尾崎委員) はい。
- (山田会長) なかなか難しいところかと思えますけれども。
- (山田会長) 付随してでもいいですし、他に何かありましたら受けたいと思います。
  - ・ よろしいですか。
- ○ (山田会長) 次の章の「ともに生き、ともにつくるつきがた」ということで、この章に関して何かありましたら。
- ○ (西野委員) 88ページの「行政区数」ですけれども、今の「13」を「12」に減らすというのは、減らす、減る、合併するということですか。「13」の数は維持せず、数的には「12」に減るというのはどういうことなのかと思いました。
- (企画振興課長) 行政区については、何年前に再編のお声かけをずっとしてきて、現状ではこれ以上進まず、住民の方のお声もこの状態でよいということです。

この減少の件については、特にこことここがということではありません。一層の人口減少により、区ごとの牌が小さすぎた場合には、全体としてもう少し進み、大きくしていった方がいいのではないかという意味での一つ減という形でございます。
- (山田会長) よろしいですか。
- (西野委員) はい。
- (山田会長) 行政区長の開藤さんと北地さんがみえていますけれども、行政区の再編ということで何かありますか。
- (開藤委員) それは、その地域の事情があつてのことです。私たち自身も班編成を見直しつつある状況でございますので、これは致し方ない現状ではないかなと思います。
- (山田会長) ありがとうございます。その他にこの件に関して、この章に関して何かありましたら。
  - ・ よろしいでしょうか。
- ○ (山田会長) それでは、一通り1章から6章まで皆さんのご意見をいろいろ伺ってきました。全体を通して、今まで話した中身についてでもよろしいですし、何かご意見、質疑があれば受けたいと思います。
- ○ (阿部委員) 現在、計画している以上に町民の人口減少が進んでいる。現状では2

年先の数値なっていると思います。その中で、人口減少が進んでいることに対する施策が今回入っているのかどうか。それから、平成27年のデータで満足度というのがあり、前は交通関係に対する不満が出ており、今回はJRが廃止になるということで代替バス等もあります。その下の産業分野では、農業の不満はあまりないですけれども、商工や雇用に対しては大きなマイナスが出ている。他アンケートでは、ほとんど満足という方にグラフが動いていますが、不満の多い部分に対して、しっかりした政策が今回の計画の中に盛り込まれているのかどうかを確認したい。

- （山田会長）人口の減少対策等は、農業の方もそうですけれども、雇用の方ということです。そういうものが、当然、対策にも含まれ後期に取り掛かるが、それがどういう形かということで、すぐ目の前に迫った問題かと思います。
- （阿部委員）参考資料である総論・基本構想の16ページにグラフ化されています。交通関係の部分は廃止になるということで、いろいろな対策は取られていると思います。けれども、その下の3番目「産業分野」の中で、商工業や雇用の問題のデータ数値が低く、しっかりと対応が盛り込まれているか知りたい。資料3-1の13ページで、きれいな五角形になればいいけれども、歪なグラフであり、この部分には対策されていないような気がします。即答はいいですけれども、次回の会議のときにお答えいただきたい。今、いきなり言っても資料がバラバラになっているので、次回の会議のときでいいです。
- （企画振興課長）今の平成27年と今回の件について、商工業や雇用対策の状況というのは満足度が低くて重要度が高いですので、課題としては重要というところに位置付けられます。商業振興では、戦略として先ほど説明しました商工業の後継者への支援等を次期戦略では考えていきたい。農業については従前から行っており、特に後継者対策については一定の成果が出ている状況です。そのような商業バージョンを商工会さんとも検討しながら進めていきたいと考えております。雇用対策について、具体的な事業展開というのはなかなか難しく、27年から今回についても評価が下がってございます。今、間接的にはありますけれども、具体的な雇用の場をすぐ設けるといような施策は乏しい状況にあります。

人口減少への対応では、先ほど説明のとおり振興計画の後期計画だけをみると、個別事業も出ておらず大きい括りですので、なかなか見えづらいと思います。戦略の事業につきましても、すべて人口減少に対応する対策ということで、現在、60事業程度を5年前から実施しています。この後期計画を見ると大括りになっており、戦略の資料を皆さんにお渡ししてございませんので、分かりづらいと思います。現在、戦略を審議会の中でご意見をいただいています。内容が変更になるかもしれませんので、それを踏まえてこの計画に影響が出るところは、皆さんからご意見をいただく形になります。現段階で、現状の戦略（案）を皆さんの方にお渡ししたいと思っております。

す。

○（山田会長）そういうことでよろしいでしょうか。うちのまちだけでなく、日本全土がこの問題で非常に悩ましい問題かと思えます。人口減少は大きな問題ですので、なかなかすぐに解決するような事業など、いいものは出てこないと思います。

他に何かありましたら、お願いします。全体を通してよろしいですか。

- ○（阿部委員）町外から月形に来て仕事をしてもらっている人がかなりいる中で、町内に定住してもらえない理由というのは、アンケートに出ていますか。

●（企画振興課長）今回のアンケートは、中間の評価ということもあり、転出された方への個別アンケートはしていません。前回、27年のときには、10年間の計画を作るということで、転出された方にもアンケートを郵送させていただき、月形町の良いところ、悪いところなどご意見をいただいています。この5年で、それほど大きく変わらないのかもしれないということもあり、その辺は参考になると考えています。

○（山田会長）町外から通っている人が、町内に定住しないというのは何か、住宅事情なのか、教育なのか、そういう話ですよ。

○（阿部委員）なぜ、町外から月形に通っているのか、原因を突き止めない限り進めるのが難しい。

●（堀副町長）今回のアンケートにはないですけども、聞いている中では、住宅事情として、施設等に通われている方で「月形に住むところがない」という声です。今時の若い人が住むような住宅がないという声も一部聞いています。そして、こちらに住んでいて出て行ってしまう方では、子どもの教育を求めて町外に出て行くということも聞いたことがあります。そこら辺を改善して移住や定住をしてもらおうという施策を具体的に戦略の事業として盛り込み進めていくと考えています。

○（山田会長）相当、うちのまちには施設がたくさんあり、介護施設等もあります。この中には、確か人口ビジョンでも、こちらに通っておられる方と岩見沢等に通っている方の差が相当あり、町内に定住しないということでもあります。今、言ったように住宅、教育など悩ましいところですけども、原因的にはそういうようなところということなんです。

- ○（山田会長）その他、今の関連しているところでもよろしいですし、どうでしょうか。

・ よろしいでしょうか。大綱ということで目指すところが非常に大きく、なかなか難しい面ありますけれども、総合戦略と一緒に整合性を取りながら進むことになろうかと思えます。

・ 全体を通してよろしいでしょうか。ちょうど1時間経ちましたので、他にこれ以上何もなければ終了ということに。

・ いろいろなご意見、質疑が出ましたけれども、それを踏まえて、これで第2回目は

終了ということによろしいですか。

- ・ これをもって、1 番の議事に関しては終わらせていただきます。

(2) その他

- 今後のスケジュール等について

【説明：企画振興課長】

- ・ 開会の際にご説明のとおり、戦略の中ではかなり厳しいご意見もいただいております。それをどこまで計画に反映できるか、現在のところ分かりかねますが、そうした修正を戦略の方で行った後、また、皆さんからこの未来の委員会の中でご意見をいただく形になると思います。最終的に案を決めていくという流れになりますけれども、戦略を経てということで、1 月下旬または2 月上旬という中で進めていきたいと考えております。先ほど言いました戦略につきましては、それより前に直接皆さんのところに郵送をしたいと考えてございますので、ご覧になっていただければと思います。

## 2 閉 会

【挨拶：山田会長】

- 今、課長から総合戦略の会議で細部にわたり、いろいろな意見もある。アンケートを見ても相当厳しい意見等もあり、いろいろと間違いのないところです。そういう形の中で、この後、今日はこれで会議を終了しますが、これまでのご意見等を踏まえ、次回、また皆さんにお集まりいただきたいと思います。戦略の方も答申が出てくると思いますので、次回は最終的な答申にまとめていきたいと思います。今日は貴重な時間、大変ありがとうございました。また、よろしくお願いいたします。

(終了：午後6時15分)

月形町まちづくり推進会議  
「月形町未来を考える委員会」委員名簿

(任期:平成29年12月27日～令和元年12月26日)

No	選任区分	推薦団体	役職	氏名	出欠 12/16	備考
1	第1号 (施行規則第2条第1号)	月形町農業委員会	会長	渡辺 祥紀	○	
2	第2号 (施行規則第2条第2号)	月形町教育委員会	委員	岸上 希央	○	
3	第3号 (施行規則第2条第3号)	月形町社会教育委員	社会教育 委員長	伊藤 格	×	
4	第4号 (施行規則第2条第4号)	月形町行政改革推進委員会		森脇 宏	○	
5	第5号 (施行規則第2条第5号)	月形町民生委員・児童委員協 議会	会長	会長	山田 啓一	○
6	第6号 (施行規則第2条第6号)	月形町更生保護女性会	副会長		西野 智佳子	○
7		月形町赤十字奉仕団	委員長		松山 俊子	○
8		月形町社会福祉協議会	事務局長		尾崎 美世子	○
9		月形町農業協同組合	代表理事 組合長		阿部 憲二	○
10		月形町農業協同組合青年部	副部長		山田 直樹	○
11		月形町農業協同組合女性部	監事		中村 三賀子	×
12		月形商工会	監事	副会長	岡 浩之	×
13		月形商工会青年部	部長		福村 卓也	×
14		月形商工会女性部	副部長		鳥潟 さつき	○
15		月形町環境保全推進協議会	理事		山際 榮二	○
16	第7号 (施行規則第2条第7号)	月形町行政区連絡会議	行政区長		開藤 悦夫	○
17		月形町行政区連絡会議	行政区長		對馬 照巳	×
18		月形町行政区連絡会議	行政区長		北地 敏幸	○

敬称略